

自然観察シリーズ

NO. 573

植物



ウバユリ(姥百合)とオオウバユリ(大姥百合)

ユリ科ウバユリ属

ウバユリは、日本の中部から南部に生える多年草です。草丈は一

す。実際には木陰に生えているものは葉が青々としているのも多いです。

メートル以下で、夏に

一方のオオウバユリは中部以北に生え、ウバユリの変種とされ、互いに住み分けています。背丈は人の背丈位の一・五メー

緑白色のユリに似た花を2ケから5ケ咲かせます。花の時期に葉の枯れかかった状態のものが見られ、そこから歯の欠けた姥にたとえた名前が付いたと云われま

トルから二メートルにもなり、茎も太く葉も大きく全体的に壮大です。花も普通一〇ケ以上二〇ケ位咲かせます。去年の



夏、石川県の白山に行つた時も登山道の下の方でたくさん咲いていました。ウバユリは芽生えから花が咲くまで八年の期間を要し、開花した株は枯れてしまいますが、たくさんさんの種を実らせているので、根元には次の世代の若い株が育っていました。

第46回相模湖・ダム建設殉職者合同追悼会

7月28日、46回目のダム建設殉職者の合同追悼会が実行委員会の主催で行われました。今年は連日、猛暑が続いています。祭壇の飾りは例年より簡略化されましたが、会は厳粛に行われました。毎回、中国や韓国・朝鮮などの舞踏や演奏などが紹介され好評ですが、今年は神奈川朝鮮中高級学校舞踏部の皆さんによる舞踏が披露され、みなさん見入っていました。



フィナーレは歌手の雨宮知子さんのリードで出演された北相中学校2年生、朝鮮中高級学校舞踏部のみなさんたちと全員合唱